

2025年度第2四半期(中間期)決算説明会

エーザイ株式会社
2025年11月5日

2025年度 第2四半期(中間期)連結業績(IFRS)

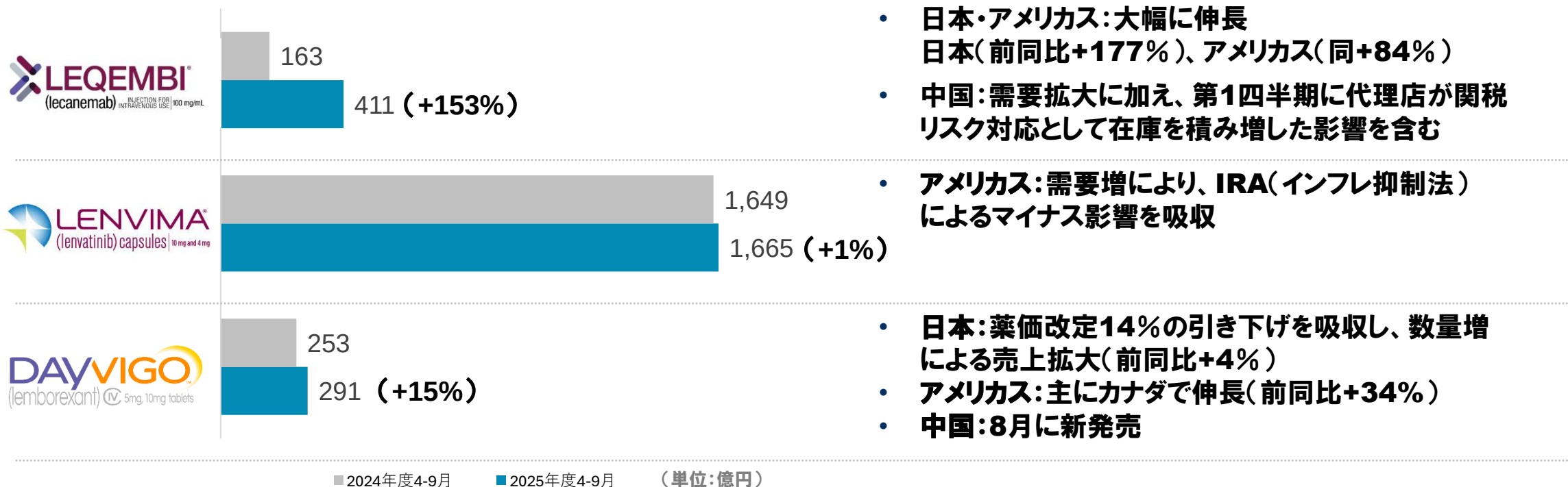
- 医薬品事業が順調に進捗し、それを中心とする利益構造により増収増益を達成
- 下期の研究開発への資源投入と構造改革費用を見据え、業績予想は変更なし

(億円)	2024年度	2025年度	対前同 増減		2025年度	
	4-9月 実績	4-9月 実績			予想	進捗率
売上収益	3,850	4,000	+150	+3.9%	7,900	50.6%
内 医薬品事業 売上収益	3,730	3,933	+203	+5.4%	7,545	52.1%
売上原価	823	881	+59	+7.1%	1,825	48.3%
売上原価率	21.4%	22.0%	+0.7pts	—	23.1%	—
売上総利益	3,028	3,119	+91	+3.0%	6,075	51.3%
研究開発費	818	755	-62	-7.6%	1,665	45.4%
研究開発費率	21.2%	18.9%	-2.4pts	—	21.1%	—
販売管理費	1,970	2,040	+71	+3.6%	3,960	51.5%
内 レンビマ利益折半費用	739	756	+16	+2.2%	—	—
その他の損益	38	21	-17	-45.3%	95	21.9%
営業利益	278	344	+66	+23.6%	545	63.2%
営業利益率	7.2%	8.6%	+1.4pts	—	6.9%	—
中間(当期)利益(親会社所有者帰属)	217	246	+29	+13.5%	415	59.3%
EPS(円)	76.13	87.37	+11.24	+14.8%	147.20	59.4%

- 医薬品事業は、レケンビ、レンビマ、デエビゴが伸長し、増収
- 売上原価率は、プロダクトミックスの変化及び薬価改定により、上昇するも、計画の範囲内でコントロール
- 研究開発費は、レケンビ試験費用がピークを過ぎたことに加え、構造改革によるコスト最適化等により減少
下期は次世代重点開発品へ積極資源投入
- 販売管理費は、レケンビへの積極的な資源投入により増加
下期はEMEAでの構造改革費用の発生を予定

売上収益の概要

- レケンビを中心として3L^{*1}計で前年同期比+15%の2,368億円
- 3Lの成長がけん引し、医薬品事業で増収を達成

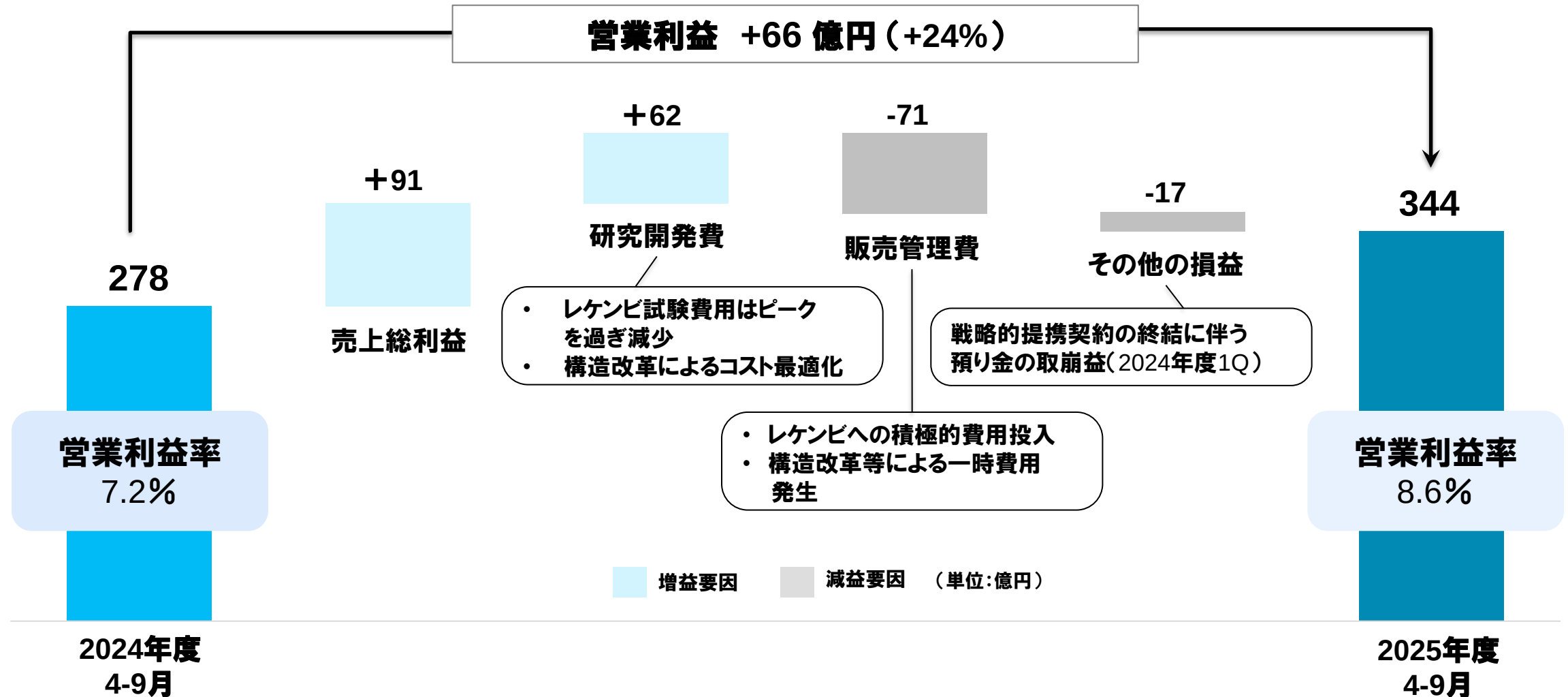


医薬品事業売上収益は前年同期比+5%の 3,933億円

*1 LEQEMBI、LENVIMA、DAYVIGO (Lemborexant)

営業利益増減要因

- オーガニックビジネスである医薬品事業の売上収益拡大に加え、費用コントロールにより、営業利益は+24%



基幹製品レンビマの新たな有用性の可能性

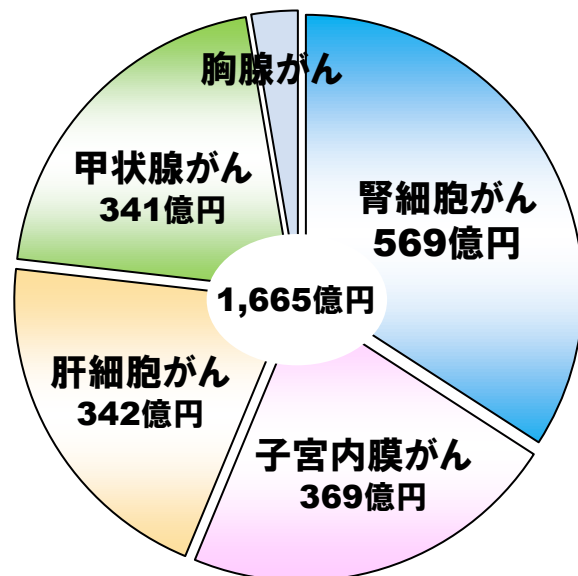
発売以来10年、81カ国で約57.5万人に貢献(5がん種7適応)



独占期間の維持

米国における高純度特許に対する裁判の判決
および和解契約により、2030年6月30日まで
後発医薬品の販売はない

2025年度上期売上実績 適応症別(グローバル)



適応拡大による患者様貢献の拡大

- LITESPARK-011^{*1}**
 (腎細胞がん2L レンビマ+ベルズチファン併用)
 主要評価項目である無増悪生存期間の延長を達成
 世界各国の規制当局との承認申請にむけた協議を開始
- LITESPARK-012^{*2}**
 (腎細胞がん1L レンビマのペムブロリズマブ+ベルズチファン
 もしくはMK 1308A^{*3}との併用)
 中間解析にむけて順調に進行中

レケンビ 51の国・地域で承認

米 国
日 本
中 国
韓 国
アラブ首長国連邦
香 港
イスラエル
英 国
メキシコ
マカオ
オマーン
台 湾
アイルランド
イタリア
エストニア
オーストリア
オランダ

キプロス
ギリシャ
クロアチア
スウェーデン
スペイン
スロバキア
スロベニア
チェコ
デンマーク
ドイツ
ハンガリー
フィンランド
フランス
ブルガリア
ベルギー
ポーランド
ポルトガル

マルタ
ラトビア
リトアニア
ルーマニア
ルクセンブルク
アイスランド
リヒテンシュタイン
ノルウェー
カタール
シンガポール
タイ
サウジアラビア
クウェート
バーレーン
インド
オーストラリア
カナダ

早期投薬開始と18カ月以降の維持療法の定着

**ADは進行性疾患でありAβプラーク除去後も
神経変性プロセスが進行し、臨床症状の悪化が継続**

**初期療法
(18カ月)**

**維持療法
(18カ月以降)**

IV once two weeks

*1

IV once a month *2, 3

LEQEMBI IQLIK *4
once a week

レケンビ 有用性確立

• 投与期間、投与法の確立

初期療法・維持療法の承認

• 安全性の確認

リアルワールドにおけるARIA発生率は、添付文書の範囲内

米国のリアルワールド2年データ（AAIC2025*1）

全てのARIA 12.9%（23 / 178例）

ARIA-E 6.7%（12 / 178例）, ARIA-H 5.1%（9 / 178例）

日本における全例調査（2025年10月15日時点）

全てのARIA 8.3%（918 / 11,083例）

ARIA-E 2.3%（254 / 11,083例）, ARIA-H 4.3%（473 / 11,083例）

• 有効性の拡大

- **Clarity AD 48カ月OLEデータ*1**；早期開始、治療継続によってEffect sizeは拡大
- **米国2年間のRWE*2試験*1**；当事者様の治療満足度は8.8点/10点、87%が治療継続、84%の患者様が病期を維持又は改善
- **Humanized Message**を用いた当事者説明

レケンビ 売上推移（2025年度 上期）

（億円）

	1Q	2Q	前四半期 比	上期	前年 同期比	通期予想	対通期予想 進捗率
アメリカス	91	102	+12%	193	+84%	400	48%
日本	55	62	+13%	117	+177%	240	49%
中国 (実需要 ^{*1})	77 (24)	2 (27)	-97% (+10%)	79 (51)	+442% (+250%)	95	83% (54%)
Others (アジア, EMEA)	9	14	+53%	22	+1637%	30	75%
Global (中国実需要ベース)	231 (179)	180 (204)	-22% (+14%)	411 (383)	+153% (+135%)	765	54% (50%)

*1 中国実需要は、代理店から医療機関への販売データを基にした社内推計値（第1四半期に代理店が関税リスク対応として在庫を積み増した一時的な影響を除く）

LEQEMBI IQLIK 維持療法 米国上市

- 2025年10月6日新発売
- 当事者様やケアパートナーが自宅で投与可能（平均15秒）、投薬のための通院不要
- IV投与に関わる医療行為（点滴静注のための準備、投与に関わる看護師によるモニタリング等）の削減
- LEQEMBI Companion™ の開始
 - エーザイ地域アクセス担当による保険適用や自己負担額に関する情報提供、Medical Exception Process*1の支援
 - ナースエドゥケーターによる対面またはオンラインでの注射投与支援、デモキットによる投与支援

発売後4週間で全米34施設にLEQEMBI IQLIK初回納入を完了、
341施設に投薬トレーニング用デモキットを提供、
Medical Exception ProcessによるLEQEMBI IQLIKの良好な償還を見込む

LEQEMBI IQLIK 初期療法 米国申請

Fast Track指定のもと段階的申請開始
2025年度3Q申請完了予定、2026年度1Q承認をめざす*2

SC-AI*3 初期療法 日本 年内申請予定



LEQEMBI IQLIK
米国TIME誌
The Best Inventions of 2025
医療・ヘルスケアカテゴリに選出

From TIME. © 2025 TIME USA LLC. All rights reserved. Used under license.

米国 BBM^{*1} 確定診断

BBM確定診断への新たな進展

- ✓ **BBM Clinical Practice Guideline^{*2} 発出（米国アルツハイマー協会）:**
感度及び特異度が90%以上のBBM検査がAβ確定診断としての使用推奨
- ✓ **富士レビオ社のBBM（pTau-217/Aβ1-42比）^{*3}がIVD^{*4}承認を取得。感度及び特異度90%以上を達成**
 - ・ **Lab CorpとQuest等の大手検査会社が富士レビオ社のBBMを検査項目として導入**
- ✓ **C2N社 p-tau217/np-tau217比、Aβ42/40比を用いたBBMがFDA申請を完了**
- ✓ **CMS^{*5}によるBBMの新たなNational payment rateが決定し、2026年1月より施行**

BBM確定診断の現況

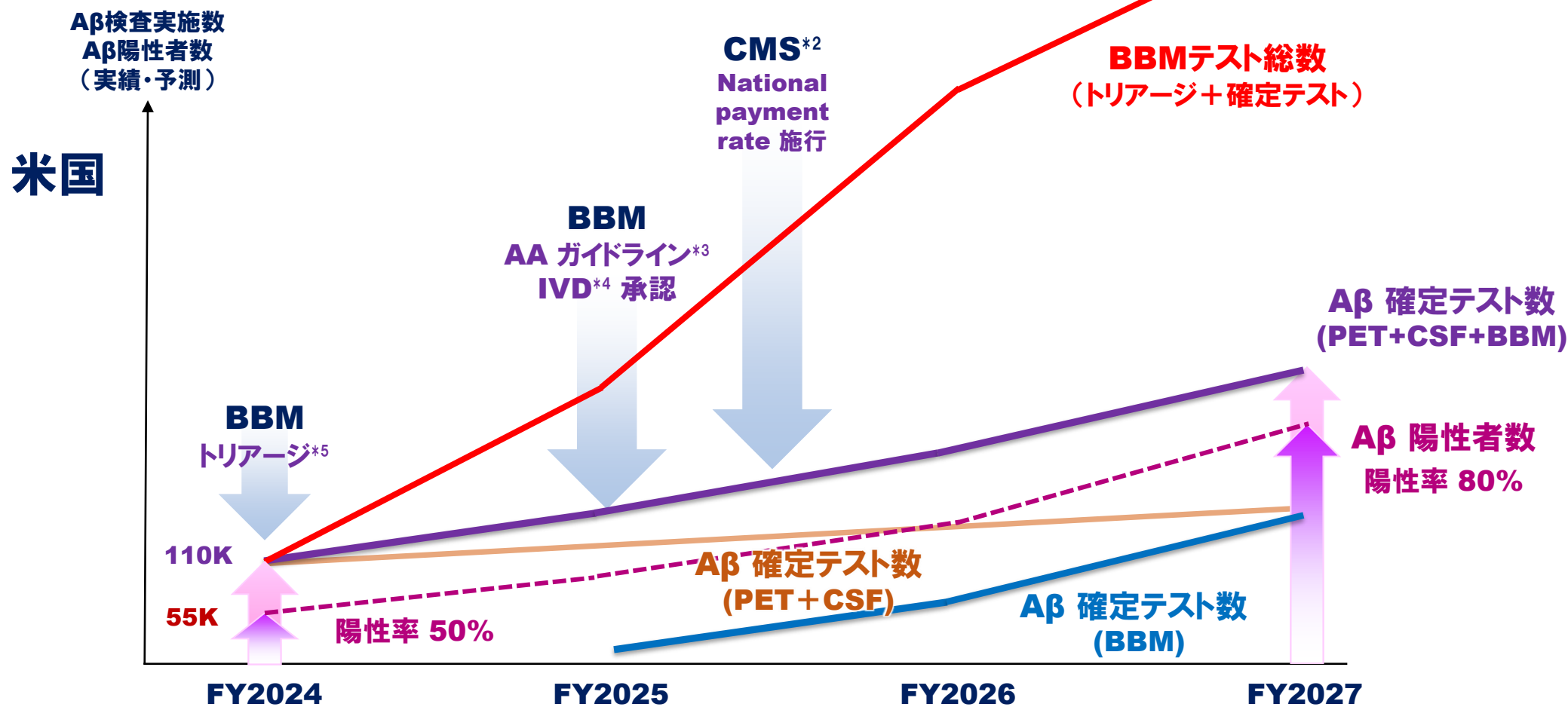
- ✓ **米国の実臨床において、約10%のAβ検査にBBMによる確定診断が使用。
BBMのみによる確定診断が確実に増加**

トリアージ^{*6}: ロシュ社のBBM（pTau-181）がPCPによるトリアージ診断として、IVD承認を取得

Aβ確定診断としての社会実装・普及へ向けて進行

*1 Blood-based biomarker, *2 Alzheimer's Association Clinical Practice Guideline on the use of blood-based biomarkers in the diagnostic workup of suspected Alzheimer's disease within specialized care settings, Alzheimer's Dement, 2025;21:e70535 *3 製品名:Lumipulse® G pTau 217/β-Amyloid 1-42 Plasma Ratio *4 In Vitro Diagnostic *5 Centers for Medicare & Medicaid Services *6 侵襲性の高いCSF検査や高価なPET検査の実施を最小限にする目的で実施する予備検査検査の結果が陰性であれば、Aβ凝集のクライテリアが陰性である可能性が高く、ADの最終的な確定診断には進まない。陽性であれば、ADとして確定診断するために、CSFやPETによる診断が実施される

BBM^{*1}検査導入によりAβ検査実施数および Aβ陽性者数の増加・陽性率の向上を見込む



Aβ検査実施数の増加はレケンビ成長に大きく貢献

SiteRX data, 社内推計に基づく

^{*1} Blood-Based Biomarker ^{*2} Centers for Medicare & Medicaid Services ^{*3} Alzheimer's Association Clinical Practice Guideline on the use of blood-based biomarkers in the diagnostic workup of suspected Alzheimer's disease within specialized care settings, Alzheimer's Dement. 2025;21:e70535 ^{*4} In Vitro Diagnostic ^{*5} 侵襲性の高いCSF検査や高価なPET検査の実施を最小限にする目的で実施する予備検査検査の結果が陰性であれば、Aβ凝集のクライテリアが陰性である可能性が高く、ADの最終的な確定診断には進まない。陽性であれば、ADとして確定診断するために、CSFやPETによる診断が実施される

エーザイのみが描ける Modified AD Continuum 3つのオプション

レカネマブ
Early AD
(Clarity AD+OLE)

発症後の
認知機能悪化抑制

- ・ 維持療法は、Aβプラークの除去のみならず毒性のあるAβプロトフィブリルの再蓄積を阻害、全Aβ毒性種の低減維持に寄与
- ・ 第III相試験開始前に、ADNIコホート対照を厳密に設定した高質な群間比較において長期継続投与(48カ月)の有効性を確認
- ・ Lecanemabの免疫原性・中和抗体発生率の低さが長期投与を可能とし、有効性の維持・拡大に寄与している可能性

レカネマブ
Preclinical AD
(AHEAD 3-45試験)

発症抑制

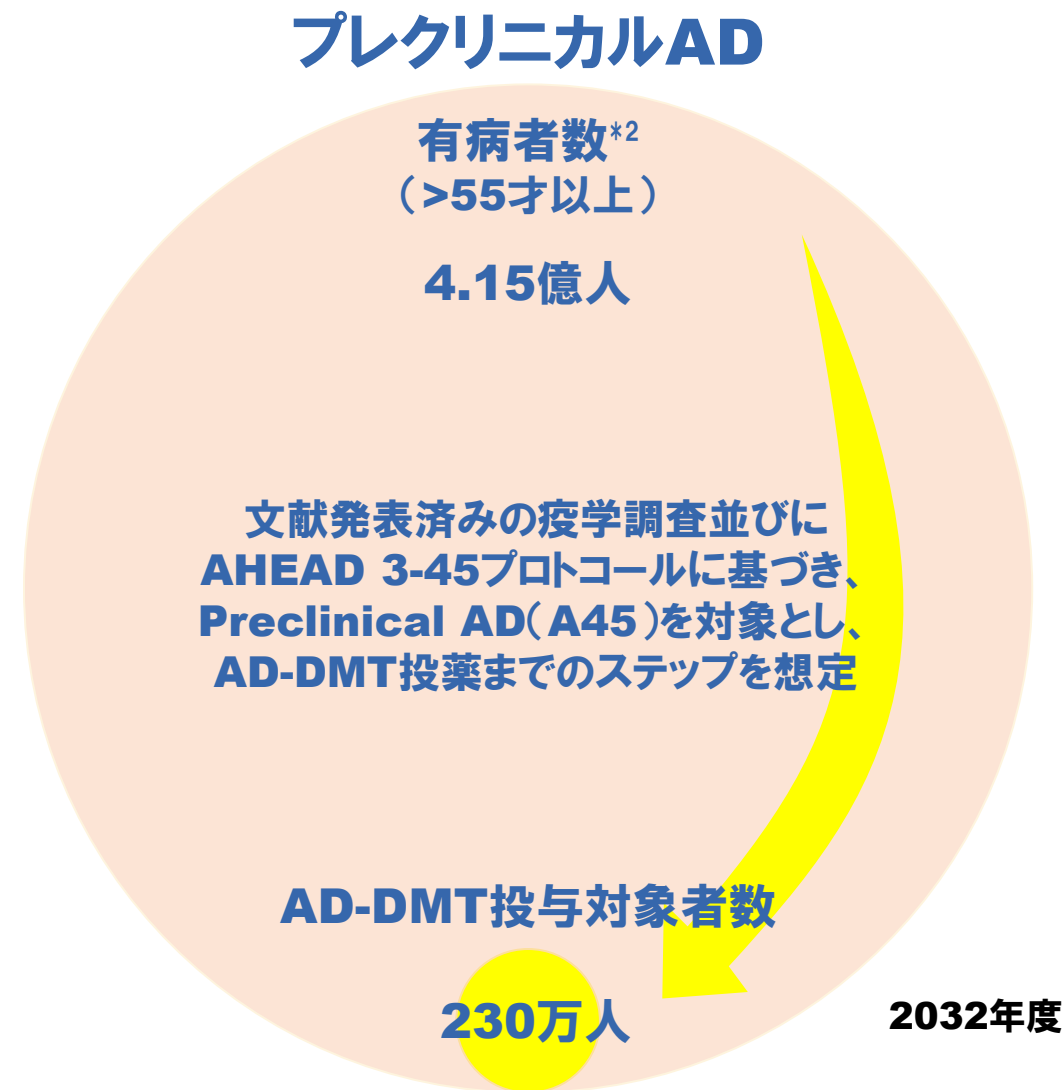
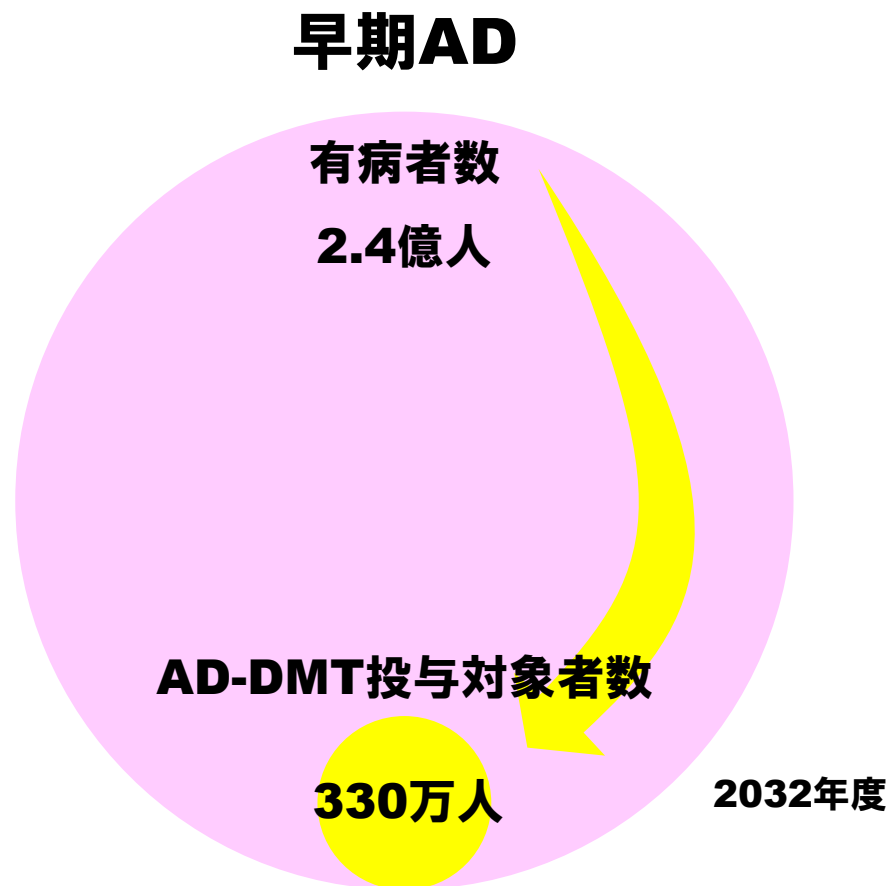
- ・ プレクリニカルADにおいて、AβプロトフィブリルおよびAβプラークを除去し、臨床症状の発症を抑制
- ・ バイオマーカーを用いた厳密な対象選択により、純粋なプレクリニカルADに対する効果を検証(グローバルCDR=0, Aβ蓄積 >40CL: A45 1,000例)
- ・ FDA, EMA ガイドラインを満たす第III相試験
- ・ 最適投与量: A45は2年間の隔週静脈内投与と2年間の月1回の維持投与
- ・ 2028年度のData readoutを予定(PACC5^{*1})

レカネマブ +
Etalabetug (Tau)
Early AD

発症後の
認知機能維持

- ・ 併用療法により、2大病理であるAβ, Tauに対応、より高い臨床効果および次世代AD治療の確立を追求
- ・ EtalabetugはDIAD対象^{*2}103試験においてClinical PoM^{*3}を確認
- ・ BBM^{*4}による効率的な対象選択や至適投与量の選択、Tau病理の評価を可能とする革新的な臨床試験デザイン
- ・ 2027年度のData readoutを予定(Sporadic AD対象202試験)

早期AD, プレクリニカルAD: AD-DMT 投与対象者数*1



**プレクリニカルADにおけるAD-DMT投与対象者数は、
早期ADと同様に、高いポテンシャルを有する**

全米におけるEducation Programの展開

【神経内科医による全米規模の集会】

2025年10月: National Education Programを開催

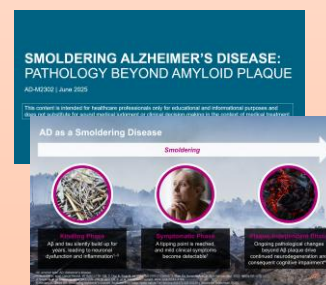
- 全米から約1,000名が参加
- MOA*1、48カ月OLEデータ、Study 201 GAP*2、Real World Evidence*3による有効性・安全性データを中心に紹介
- BBM、LEQEMBI IQLIKによる診断・治療のパラダイムシフトについて、また当事者やケアパートナーの方による診断から初期療法・維持療法までの実際の経験について、大きな反響と共感を獲得



【Smoldering Alzheimer's Disease】

Aβプラーク除去後もADの病理学的変化が継続し、神経変性が進行している

- 今年度で200回以上のEducation Programを全米で実施済み
- Nature Portfolioにて本概念が提唱

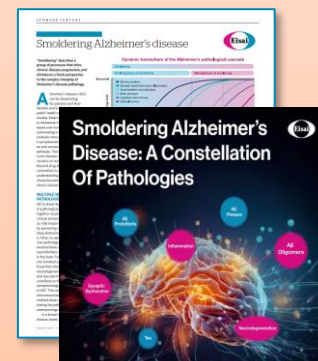


200+

Education programs



Medical Symposium at AAIC



Nature Portfolio

充実したデータの徹底的紹介とLEQEMBI IQLIK登場周知

ADをSmoldering Alzheimer's Diseaseと再定義し、継続治療の重要性を訴求

進行性疾患であるADで、一日も早い治療開始実現への取り組み（１）

— PCP*1の役割強化 —

米国 PCP-専門医 医療連携構築に着手

- 潜在AD当事者様が多いエリアにおいて、3,500人のPCPをターゲットとし、PCP専門MRによるアプローチを開始
- PCPによるMCI/軽度AD当事者様の特定、IDN*2の専門医への紹介を迅速化
- BBMによる診断、LEQEMBI IQLIK メンテナンスによる治療参画



PCP向け資料

より早期の治療開始と診断・治療の一般化に向けた医療連携構築

— Targeted DTC*1 TV キャンペーン —

（米国）

You STILL CAN BE

DTC 下期に上期比の2倍量のキャンペーンを展開

- 初回のNeurologist 受診・診断後に、IC*2 や更なる検査(Aβ検査)に移行する割合が、昨年比約3.7倍に増加
- DTCを視聴した半数以上の当事者様が、医療従事者へレケンビ治療について相談
- レケンビ治療への理解を醸成し、治療への積極性を獲得

写真は実際にレケンビで治療中、あるいは治療を終えた当事者様とケアパートナーの方々



**主要市場において診断・治療のパスウェイ
整備が進み、より多くの当事様が治療を
受けられる体制がつくられつつある**

日本レケンビ

循環型医療連携の構築

- 初期導入 約800施設 と
フォローアップ約1,600施設を構築済
- MCI 疾患啓発によって、疾患認知率、専門医
受診者数、Aβ検査実施数は飛躍的に向上

	2024年3月		2025年10月
疾患認知率	12%	⇒	33%
累計専門医受診者数*1	約13万人	⇒	約33万人
累計Aβ検査実施者数*1	約1,370人	⇒	約29,300人

- PCP*2から初期導入施設に当事者様を紹介する
医師数が急増（紹介医師数は2025年9月時点
で累計約4,200名、4月から4倍超に増加）
- 初期導入、フォローアップ、紹介の役割を
担う医師が一堂に会した地域連携集会を
発売以来800回開催

中国レケンビ

オンライン健康プラットフォームによる 認知症患者様へのワンストップ支援と 今後のアクセス拡大

- JD Healthと提供する銀髮通(イン ファートン)の
利用者数、受診件数は急拡大

– ADのスクリーニング～治療までの総合支援

	2024年6月		2025年10月
利用者数	48万人	⇒	62万人
累計受診件数	1.8万件	⇒	2.6万件

- 今後のアクセス拡大に向けて、NRDL*3収載や、
新たに中国政府が導入した革新的な医薬品に
かかる民間商業保険の活用を検討

欧州レケンビ

2025年8月25日(オーストリア)・9月1日(ドイツ)上市達成

マーケットアクセス(償還取得)

- ・ドイツ:任意価格による償還(6カ月間)、オーストリア:任意価格による償還

コマーシャル&メディカル活動

- ・ **CAP^{*1}**登録施設数/医師数は発売約2カ月で2カ国計で約350施設/420医師に到達
- ・ 大規模病院、専門医在籍の診療所において順調な症例登録・処方を確認
- ・ オウンドメディアによるHCP^{*2}への安全性情報提供の徹底
- ・ 発売前ローンチイベントに約600名のHCPsが参加
各種セミナー・学会シンポジウム(**DGN^{*3}**、**DGPPN^{*4}**)を開催予定
- ・ 全国規模の認知症レジストリ研究(**DEMREG^{*5}**)をサポート

**KOL^{*6}エンゲージメントを起点としたパスウェイ構築により
円滑なローンチを達成**

*1 Controlled Access Program:特定の医薬品に対して使用や流通を制限する制度。患者様の安全性を確保しつつ、医薬品の適正使用を促進するために設計されている。各国の保健当局によって設計・運用される、*2 HCP: Health Care Professional
*3 The German Neurological Society:ドイツ神経学会、*4 DGPPN:German Association for Psychiatry and Psychotherapy:ドイツ精神医学会、*5 German Dementia Registry:アルツハイマー病を含む認知機能障害および認知症患者を対象とした、ドイツ全国規模のバイオマーカーベースのレジストリ *6 Key Opinion Leader

エーザイの目的

**「AD診断・治療を当事者様にとって身近なものとし、
普遍・普及化していく」**

**LEQEMBI IQLIK、BBMは
このための二大Game changer**

治療の普遍・普及化の事例

関節
リウマチ

血液バイオマーカー

抗CCP抗体^{*1}
MMP-3^{*2}

SC-AI製剤^{*3}
(疾患修飾薬)

TNF α ^{*4}阻害薬
IL-6^{*5}受容体阻害薬
T細胞活性化阻害薬

治療の普遍・普及化

早期アルツハイマー病、 プレクリニカルAD ともに大きなポテンシャルを認識

参考資料

連結損益計算書

(億円)	2024年度		2025年度					
	4-9月実績	売上比	4-9月実績	売上比	前同比	予想	前期比	進捗率
売上収益	3,850	100%	4,000	100%	+3.9%	7,900	+0.1%	50.6%
医薬品事業 売上収益	3,730	96.9%	3,933	98.3%	+5.4%	7,545	+0.7%	52.1%
その他事業 売上収益	120	3.1%	67	1.7%	-43.8%	355	-12.1%	19.0%
売上原価	823	21.4%	881	22.0%	+7.1%	1,825	+8.1%	48.3%
売上総利益	3,028	78.6%	3,119	78.0%	+3.0%	6,075	-2.1%	51.3%
費用合計*1	2,749	71.4%	2,775	69.4%	+0.9%	5,530	-2.3%	50.2%
研究開発費	818	21.2%	755	18.9%	-7.6%	1,665	-3.0%	45.4%
販売管理費	1,970	51.2%	2,040	51.0%	+3.6%	3,960	-2.9%	51.5%
その他の損益	38	1.0%	21	0.5%	-45.3%	95	-29.1%	21.9%
営業利益	278	7.2%	344	8.6%	+23.6%	545	+0.2%	63.2%
中間(当期)利益	231	6.0%	259	6.5%	+12.2%	435	-9.5%	59.5%
中間(当期)利益(親会社所有者帰属)	217	5.6%	246	6.2%	+13.5%	415	-10.6%	59.3%

2025年度第2四半期期中平均レート 米ドル:146.03円(前期変動率-4.3%)、ユーロ:168.05円(同+1.3%)、英ポンド:195.95円(同+0.3%)、人民元:20.29(同-4.0%)
2025年度期中平均予想レート 米ドル: 148.00円、ユーロ:157.00円、英ポンド:188.00円、人民元:20.80円
*1 研究開発費+販売管理費-その他の損益

セグメント売上収益

(億円)	2024年度		2025年度					
	4-9月 売上収益	構成比	4-9月 売上収益	構成比	前同比	予想	前期比	進捗率
医薬品事業計	3,730	96.9%	3,933	98.3%	+5.4%	7,545	+0.7%	52.1%
日本	1,073	27.9%	1,125	28.1%	+4.9%	2,255	+4.3%	49.9%
アメリカス	1,370	35.6%	1,417	35.4%	+3.4%	2,730	-1.9%	51.9%
中国	597	15.5%	662	16.6%	+10.9%	1,240	+7.3%	53.4%
EMEA	395	10.3%	388	9.7%	-1.8%	710	-10.6%	54.6%
イーストアジア・グローバルサウス	295	7.6%	341	8.5%	+15.7%	610	+2.4%	55.8%
その他事業 ^{*1}	120	3.1%	67	1.7%	-43.8%	355	-12.1%	19.0%
連結売上収益	3,850	100%	4,000	100%	+3.9%	7,900	+0.1%	50.6%

外部顧客に対する売上収益を示す

当社グループは、セグメントを医薬品事業とその他事業に区分しており、医薬品事業を構成する日本、アメリカス(北米)、中国、EMEA(欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア)、イーストアジア・グローバルサウス(韓国、台湾、インド、アセアン、中南米、南アフリカ等)の5つの事業セグメントを報告セグメントとしている。

*1 親会社のライセンス収入及び医薬品原料などに係る事業

セグメント利益

(億円)	2024年度			2025年度			
	4-9月 セグメント利益	構成比	利益率	4-9月 セグメント利益	構成比	利益率	前同比
医薬品事業計	1,793	95.6%	48.1%	1,861	98.3%	47.3%	+3.8%
日本	365	19.5%	34.1%	368	19.5%	32.7%	+0.8%
アメリカス	794	42.3%	57.9%	832	43.9%	58.7%	+4.8%
中国	306	16.3%	51.2%	321	17.0%	48.5%	+5.2%
EMEA	191	10.2%	48.3%	171	9.0%	44.1%	-10.3%
イーストアジア・グローバルサウス	137	7.3%	46.5%	169	8.9%	49.5%	+23.0%
その他事業 ^{*1}	83	4.4%	69.0%	31	1.7%	46.4%	-62.3%
セグメント利益計	1,875	100%	48.7%	1,893	100%	47.3%	+0.9%
研究開発費 ^{*2}	-716	—	—	-660	—	—	-7.7%
親会社の本社管理費等 ^{*3}	-881	—	—	-888	—	—	+0.8%
連結営業利益	278	—	7.2%	344	—	8.6%	+23.6%

*1 親会社のライセンス収入及び医薬品原料などに係る事業 *2 研究開発費は、各報告セグメントに反映したメディカル活動に伴う費用を除いた研究開発費

*3 パートナーとの戦略的提携に伴う利益及び費用の折半金額を含む。当社グループがMerck & Co., Inc., Rahway, NJ, USAに支払う抗がん剤「レンビマ」の利益折半費用（2024年度4-9月期：739億円、2025年度4-9月期：756億円）

主要品目の売上収益

(億円)	2024年度		2025年度						
	4-9月 実績	売上比	4-9月 実績	売上比	前同比	前同比 現地通貨ベース	予想	前期比	進捗率
レンビマ	1,649	100%	1,665	100%	+1.0%	+4.5%	3,120	-5.0%	53.4%
日本	69	4.2%	70	4.2%	+1.8%	+1.8%	130	-6.4%	54.2%
アメリカス	1,159	70.3%	1,144	68.7%	-1.3%	+3.2%	2,175	-6.4%	52.6%
中国	131	7.9%	127	7.6%	-3.2%	+0.9%	250	+1.0%	50.6%
EMEA	212	12.9%	231	13.9%	+9.0%	+7.1%	410	-2.1%	56.4%
イーストアジア・グローバルサウス	77	4.7%	93	5.6%	+20.3%	+25.3%	155	-1.0%	59.8%
レケンビ	163	100%	411	100%	+152.6%	+160.7%	765	+72.8%	53.7%
日本	42	25.9%	117	28.4%	+176.9%	+176.9%	240	+88.2%	48.7%
アメリカス	105	64.3%	193	46.9%	+84.2%	+92.6%	400	+53.1%	48.2%
中国	15	9.0%	79	19.2%	+442.2%	+465.0%	95	+102.4%	83.2%
EMEA	1	0.7%	4	0.9%	+231.2%	+229.9%	—	—	—
イーストアジア・グローバルサウス	0	0.1%	19	4.6%	+8569.1%	+9118.8%	—	—	—
デエビゴ	253	100%	291	100%	+15.0%	+16.1%	580	+7.9%	50.2%
日本	212	83.8%	220	75.7%	+3.8%	+3.8%	460	+3.4%	47.9%
アメリカス	31	12.2%	42	14.3%	+34.1%	+41.1%	90	+31.8%	46.2%
中国	1	0.4%	10	3.5%	+809.4%	+848.2%	—	—	—
EMEA	2	0.7%	5	1.8%	+190.3%	+201.2%	—	—	—
イーストアジア・グローバルサウス	7	2.8%	14	4.7%	+93.2%	+94.2%	—	—	—
フィコンパ	147	100%	160	100%	+8.9%	+9.1%	315	+5.6%	50.7%
日本	38	26.2%	41	25.4%	+5.7%	+5.7%	90	+16.3%	45.1%
中国	22	15.0%	26	16.2%	+17.7%	+22.6%	50	+20.0%	51.6%
EMEA	75	50.9%	81	50.8%	+8.5%	+7.3%	155	-1.2%	52.3%
イーストアジア・グローバルサウス	10	6.8%	11	7.2%	+14.8%	+16.9%	20	-3.5%	57.4%

日本 医薬品事業の業績

(億円)	2024年度		2025年度					
	4-9月 実績	売上比	4-9月 実績	売上比	前同比	予想	前期比	進捗率
売上収益	1,073	100%	1,125	100%	+4.9%	2,255	+4.3%	49.9%
医療用医薬品	959	89.4%	1,011	89.8%	+5.4%	2,025	+4.5%	49.9%
デエビゴ	212	19.8%	220	19.6%	+3.8%	460	+3.4%	47.9%
レケンビ	42	3.9%	117	10.4%	+176.9%	240	+88.2%	48.7%
ジセレカ	72	6.7%	87	7.7%	+20.8%	—	—	—
レンビマ	69	6.5%	70	6.3%	+1.8%	130	-6.4%	54.2%
グーフィス*	39	3.6%	43	3.9%	+12.7%	85	+8.6%	51.1%
メチコバル	43	4.0%	41	3.7%	-4.6%	86	+0.4%	48.0%
モビコール*	37	3.4%	41	3.6%	+10.7%	76	-0.6%	53.9%
フィコンパ	38	3.6%	41	3.6%	+5.7%	90	+16.3%	45.1%
エレンタール*	37	3.4%	35	3.1%	-3.2%	65	-9.0%	54.4%
リーバクト*	30	2.7%	35	3.1%	+17.8%	60	+0.1%	57.9%
エクフィナ	32	3.0%	34	3.0%	+6.0%	67	+5.9%	50.5%
ハラヴェン	38	3.5%	16	1.4%	-57.8%	—	—	—
一般用医薬品等	114	10.6%	115	10.2%	+0.6%	230	+2.3%	49.8%
チョコラBBグループ	77	7.1%	81	7.2%	+5.3%	150	-1.5%	53.8%
セグメント利益	365	34.1%	368	32.7%	+0.8%	—	—	—

* EAファーマの取り扱い製品

アメリカス 医薬品事業の業績

(億円)	2024年度		2025年度						
	4-9月 実績	売上比	4-9月 実績	売上比	前同比	前同比 現地通貨ベース	予想	前期比	進捗率
売上収益	1,370	100.0%	1,417	100.0%	+3.4%	+8.1%	2,730	-1.9%	51.9%
レンビマ	1,159	84.6%	1,144	80.8%	-1.3%	+3.2%	2,175	-6.4%	52.6%
米国	1,147	—	1,131	—	-1.4%		—	—	—
百万米ドル	751	—	774	—		+3.1%	—	—	—
レケンビ	105	7.6%	193	13.6%	+84.2%	+92.6%	400	+53.1%	48.2%
米国	105	—	193	—	+84.2%		—	—	—
百万米ドル	69	—	132	—		+92.6%	—	—	—
デエビゴ	31	2.3%	42	2.9%	+34.1%	+41.1%	90	+31.8%	46.2%
米国	15	—	16	—	+8.7%		—	—	—
百万米ドル	10	—	11	—		+13.6%	—	—	—
ハラヴェン	49	3.6%	17	1.2%	-65.3%	-63.7%	—	—	—
米国	48	—	16	—	-66.7%		—	—	—
百万米ドル	31	—	11	—		-65.2%	—	—	—
セグメント利益	794	57.9%	832	58.7%	+4.8%	+9.2%	—	—	—

中国 医薬品事業の業績

(億円)	2024年度		2025年度						
	4-9月実績	売上比	4-9月実績	売上比	前同比	前同比 現地通貨ベース	予想	前期比	進捗率
売上収益	597	100%	662	100%	+10.9%	+15.6%	1,240	+7.3%	53.4%
レンビマ	131	21.9%	127	19.1%	-3.2%	+0.9%	250	+1.0%	50.6%
レケンビ	15	2.4%	79	11.9%	+442.2%	+465.0%	95	+102.4%	83.2%
メリスロン	78	13.1%	63	9.5%	-19.6%	-16.2%	—	—	—
メチコパール	63	10.5%	64	9.6%	+1.7%	+5.9%	—	—	—
セルベックス	41	6.9%	47	7.1%	+12.7%	+17.4%	—	—	—
アリセプト	39	6.6%	44	6.6%	+12.1%	+16.8%	—	—	—
ミオナール	39	6.6%	40	6.0%	+0.6%	+4.8%	—	—	—
強力ネオミノファーゲンシー/グリチロン	41	6.9%	39	6.0%	-4.0%	-0.0%	—	—	—
フィコンパ	22	3.7%	26	3.9%	+17.7%	+22.6%	50	+20.0%	51.6%
デエビゴ	1	0.2%	10	1.6%	+809.4%	+848.2%	—	—	—
ハラヴェン	12	1.9%	7	1.0%	-43.3%	-40.9%	—	—	—
セグメント利益	306	51.2%	321	48.5%	+5.2%	+10.2%	—	—	—

EMEA 医薬品事業の業績

(億円)	2024年度		2025年度						
	4-9月 実績	売上比	4-9月 実績	売上比	前同比	前同比 現地通貨ベース	予想	前期比	進捗率
売上収益	395	100%	388	100%	-1.8%	-3.0%	710	-10.6%	54.6%
レンビマ/Kisplyx	212	53.7%	231	59.6%	+9.0%	+7.1%	410	-2.1%	56.4%
フィコンパ	75	18.9%	81	20.9%	+8.5%	+7.3%	155	-1.2%	52.3%
ハラヴェン	46	11.8%	15	3.8%	-68.1%	-68.3%	—	—	—
デエビゴ	2	0.4%	5	1.3%	+190.3%	+201.2%	—	—	—
レケンビ	1	0.3%	4	0.9%	+231.2%	+229.9%	—	—	—
セグメント利益	191	48.3%	171	44.1%	-10.3%	-11.5%	—	—	—

イーストアジア・グローバルサウス 医薬品事業の業績

(億円)	2024年度		2025年度						
	4-9月実績	売上比	4-9月実績	売上比	前同比	前同比 現地通貨ベース	予想	前期比	進捗率
売上収益	295	100%	341	100%	+15.7%	+19.5%	610	+2.4%	55.8%
レンビマ	77	26.2%	93	27.2%	+20.3%	+25.3%	155	-1.0%	59.8%
アリセプト	73	24.6%	75	22.1%	+3.7%	+7.9%	—	—	—
メチコパール	21	7.3%	19	5.7%	-9.0%	-7.3%	—	—	—
パリエット	24	8.1%	19	5.7%	-18.4%	-15.4%	—	—	—
レケンビ	0	0.1%	19	5.5%	+8569.1%	+9118.8%	—	—	—
ハラヴェン	18	6.0%	18	5.3%	+2.1%	+6.0%	—	—	—
デエビゴ	7	2.4%	14	4.0%	+93.2%	+94.2%	—	—	—
フィコンパ	10	3.4%	11	3.4%	+14.8%	+16.9%	20	-3.5%	57.4%
セグメント利益	137	46.5%	169	49.5%	+23.0%	+28.6%	—	—	—

Strong Balance Sheetによる成長投資と安定配当の両立

	2025年9月末	前年度末差
Net cash ^{*1}	860億円	-188億円
Net DER ^{*2}	-0.10倍	+0.02倍
株主資本(親会社持分)	8,544億円	+130億円
親会社所有者帰属持分比率 (自己資本比率)	59.4%	-1.3%

最適資本構成の
KPIを堅持
Net DER
-0.3倍 ~ +0.3倍
親会社所有者帰属持分比率
60%レベル

財務の健全性に基づき、成長投資と安定配当を堅持
レケンビを軸とする成長の中で、中長期的な株主価値の最大化をめざす

配当支払いは毎年の取締役会決議を前提とする

*1 Net cash=現金・有価証券(現金及び現金同等物+3カ月超預金等+親会社保有投資有価証券)-有利子負債(社債及び借入金)

*2 Net DER: Net Debt Equity Ratio=(有利子負債(借入金)-現金及び現金同等物-3カ月超預金等-親会社保有投資有価証券)÷親会社の所有者に帰属する持分

1. ATN*1 包括的ADパイプライン			適応症	ClinicalTrials.gov ID	非臨床	フェーズⅠ	フェーズⅡ	フェーズⅢ	申請	承認・上市	
A	Lecanemab*2 (抗Aβ*3プロトフィブリル抗体)	早期AD (米国、日本、中国)		米国:2023年7月 フル承認・上市、日本:2023年9月 承認、2023年12月 上市、中国:2024年1月 承認、2024年6月 上市							
		早期AD (欧州)		2025年4月 承認、2025年8月 上市							
		AHEAD 3-45*4 プレクリニカルAD	NCT04468659	フェーズⅢ 進行中 LPI*5達成							
		Ⅳ 維持療法 (米国)		2025年1月 承認・上市							
		SC-AI*6 維持療法 (米国)		2025年8月 承認、2025年10月 上市							
		SC-AI 初期療法 (米国)		生物製剤承認一部変更の段階的申請開始(2025年9月)							
T	Etalanelug (E2814)*7 (抗MTBR*8タウ抗体)	Tau NexGen*9 DIAD*10対象 Lecanemabとの併用レジメン	NCT05269394	フェーズⅡ/Ⅲ 進行中							
		103試験 DIAD対象	NCT04971733	フェーズⅠb/Ⅱ 試験終了							
		202試験 sAD*11対象 Lecanemabとの併用レジメン	NCT06602258	フェーズⅡ 進行中 2025年8月以降の進捗							
N	E2511 (TrkA*12統合シナプス再生剤)	AD	NCT05147337	フェーズⅠ (MAD*13) 進行中							
	E2025 (抗EphA4*14抗体)	AD	NCT05726851	フェーズⅠ 進行中							
2. オレキシンプラットフォーム			適応症	ClinicalTrials.gov ID	非臨床	フェーズⅠ	フェーズⅡ	フェーズⅢ	申請	承認・上市	
E2086 (オレキシン2受容体選択的アゴニスト)			ナルコレプシー	NCT06462404	フェーズⅠb 試験終了						
3. 自社創製脳移行型ハイスペシフィック抗体			適応症	ClinicalTrials.gov ID	非臨床	フェーズⅠ	フェーズⅡ	フェーズⅢ	申請	承認・上市	
Evolpath™			Neurodegeneration								

*1 ATN: Amyloid, Tau, Neurodegeneration *2 バイオジェンとの共同開発品でバイオアークティックとエーザイの共同研究から得られたアルツハイマー病に対する抗体。製品名レケンビ *3 アミロイドベータ

*4 ACTC (Alzheimer's Clinical Trials Consortium)と実施 *5 Last Patient In *6 Subcutaneous formulation with auto injector *7 英国のユニバーシティ カレッジ ロンドンとの共同研究 *8 Microtubule binding region

*9 優性遺伝アルツハイマーネットワーク試験ユニット (DIAN-TU)が実施するDIADに対する臨床試験 *10 Dominantly inherited Alzheimer's disease *11 sporadic AD *12 tropomyosin receptor kinase *13 A Multiple Ascending Dose

*14 Erythropoietin-producing hepatocellular receptor A4

34

がん領域パイプライン

パイプライン	適応症	ClinicalTrials.gov ID	非臨床	フェーズⅠ	フェーズⅡ	フェーズⅢ	申請	承認・上市
MORAb-202/FZEC *1 (エリ布林-抗葉酸受容体α抗体ADC*2)	201試験 固形がん 単剤およびレンビマとの併用	NCT04300556		フェーズⅠb / Ⅱ 進行中				
E7386 *3 (CBP*4/βカテニン阻害剤)	102試験 固形がん レンビマとの併用	NCT04008797		フェーズⅠb / Ⅱ 進行中				
スプライシングモジュレーター	固形がん							
標的タンパク質分解誘導剤	固形がん							

レンビマ*5のLEAP*6-012試験につきましては、事前に設定した直近の中間解析において、レンビマとキイトルーダ®にTACE*7を加えた併用療法が、TACE単独療法と比較して、主要評価項目の一つである全生存期間の統計学的有意な改善を示しませんでした。この結果に基づき、本試験の終了を決定したため、本表から削除しました。LEAP-012 試験の結果は、中国におけるレンビマとキイトルーダにTACE を加えた併用療法による切除不能な非転移性肝細胞がんに係る適応を含め、現在承認されているレンビマとキイトルーダを含む併用療法の適応に影響を与えるものではありません。

*1 一般名: farletuzumab ecteribulin *2 Antibody Drug Conjugate 抗体薬物複合体 *3 株式会社PRISM BioLabとの共同創出品 *4 CREB-binding Protein *5 一般名: レンバチニブメシル酸塩、経口投与可能なエーザイ創製マルチキナーゼ阻害剤 *6 LEAP試験: キイトルーダ®との併用療法: Merck & Co., Inc., Rahway, NJ, USAの子会社であるMSD International GmbHとの提携による臨床試験、キイトルーダ®はMerck & Co., Inc., Rahway, NJ, USAの子会社であるMerck Sharp & Dohme Corpの登録商標、一般名: ベムプロリスマブ *7 Transcatheter Arterial Chemo-Embolization

将来見通しに関する注意事項

- 本資料中の目標数値はあくまで中期的戦略、めざす方向性、ビジョン等を示すものであり正式な業績予想ではありません。正式な業績予想は東京証券取引所規則に基づく年次決算短信での開示をご参照ください。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論、結果を招き得る不確実性に基くものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による審査期間や承認取得、国内外の保健関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。
- 当社の連結財務諸表は国際会計基準(IFRS)にて開示しています。